



派遣村・貧窮組・社会の正義

安田 信之

昨年突如として世界を襲ったリーマン・ショックは、それ以前からの日本でもみられた「好況下」の派遣労働者をめぐる格差の拡大問題とともに、この20-30年間の世界経済の支配的なパラダイムであった競争を至上のものとする市場原理主義のあり方に大きな疑問を投げかけている。このなかで、危機の最中昨年末から年初にかけて大きく報道された「年越派遣村」運動のなかに何か新しいものを感じた人は多かったのではなからうか？

この報道に接しながら、私は、篠田鋼造著『増補幕末百話』<岩波文庫 1996年>の42話(120-122ページ)を思い出した。話は、当時の江戸の町のあちこちに組織された「貧窮組」の顛末である。貧窮組とは町内の金持から米や金を徴収して炊き出しをする自然発生的な集団で、その組織原理は、「町内でも貧窮組を揃えますから御出懸け下さるとも、お出にならずば、多少の金品をお出しになるとも返答次第では覚悟があります」(原文)という自発性とも脅迫ともつかない奇妙なもので、参加、寄付のいずれも拒否した商家は打ち壊しにあったという。

この運動の興味深い点は、現実とはまかく、貧者が富者に対して一方的に「正義」を主張するという通常私たちが描く構図ではなく、双方を超える「社会の正義」ともいべきものが想定されており、その達成のために貧者は「菰旗」を掲げて練り歩き、富者は炊き出しに応じるといふ、ある種の「協働関係」がみられることである。それは確かにユートピアの発想であろうが、市民ばかりでなく政府をも巻き込んだ「派遣村」運動の中に同様の「社会の正義」の実現というユートピアを感じ取っ

たのは私だけではないという気がする。

考えてみると、諸個人が対立・競争しながら社会を発展させるとみる市場主義の世界観は世界のさまざまなところで問題を引き起こしている。深刻化する地球環境問題、途上国ばかりでなく先進諸国をも蝕みつつある貧困・格差問題などの原因の少なからずは、人々が「市場」を妄信した結果のようだ。

市場原理主義に対しては反省の動きも多くのところで生まれつつある。1990年代から途上国の開発をめぐる明らかになった「経済開発」から「社会開発」へのパラダイム転換の動きもそうである。それを支える理論の一つであるソーシャル・キャピタル論は、モノやカネで計算されない人々の信頼や連帯という社会的資産は、人々の幸福にとって重要であるばかりでなく、これまでの否定的な評価とは逆に、貧困にあえぐ人々に経済的な豊かさをももたらすものであると主張しているようだ。西欧でも社会的企業が経済の分野で存在感を増しつつあり、日本でもNPOやNGOが福祉分野を中心に大きな役割を演じていることも注目されているが、これらも営利のための競争ではなく社会の人々の協働関係を軸をおいている。

このようにみると、私たちは、豊かさへの競争をめざす自由な「市場」とそれを上から規制する「政府」という2つの原理の対抗軸の時代から、人々の信頼や連帯をもよりどころにした「社会の正義」をめざす時代への入口にさしかかっているのかもしれない。

(政策創造学部教授)

HEADLINE

3面 コミュニケーションマークと
タグラインを発表
本学ブランドのさらなる価値向上をめざして、平成21年4月、新たにコミュニケーションマークとタグラインをそれぞれ発表した。

4・9面 キャリアセンター
完全攻略ガイド
キャリアセンターでは、学生のみならずの進路選択を多面的にサポートしている。今回は、キャリアセンターが行っている各種プログラムを紹介する。
特集

12面 社会勉強になった!
関大生のアルバイト事情
アルバイトを通じて得たものとは何かそんなアルバイト事情について、インタビュー形式で取材した。利用しながら、学生広報スタッフが取材した。
特集(学生企画)

- ②面 大学入事・新役職者紹介
- ③面 学長表彰
小中高一貫教育シンポジウムを開催
- ⑤面 平成21年度
学校法人関西大学の予算について



3月の中旬、超有名ブランドのエレクトロニクスメーカーが大胆なリスティングを発表した。東洋は士気の維持と社会的な調和を重んじた。だが、水山におつれば、そうは言われてられない、とのことある新聞記事である

▼短期で利益を期待する株主に見て換転する。短期の利益を挙げない、根本的な策も維持できない。これは企業だけではない。指導的立場にある人は大衆だ。成果が短期で計られる以上、短期的な見方・対策となってしまうのは仕方がない▼政府の景気対策も右往左往している。グリーンニューディールのな対策もパツとしない。よく言われるように日本人は見本の無いことが苦手のだらうか。世界で日本人が独特の活躍をしている話は、最近よく聞くように思うのだが▼八木・宇田アンテナは1928年に発表された。しかし、1942年シンガポールで捕虜にした英兵リーダーのメモを見るまで、日本では殆ど注目されていなかった。日本人は、独自に判断できないのか、新しい発想を周りが抑えるのか▼最近、学会や政治のことを考えていて、みなさん利害関係で動けないのかも知れない。もつと前向きになれないのか。(飯田 幸雄)

大学人事

新役職者が決まり、4月1日付で次のとおり発令された。

▽大学院
▽心理学研究科
▽心理臨床学専攻 教授 飯田 紀彦

新役職者紹介



先端科学技術推進機構長 石川 正司

先端科学技術推進機構は、理工系教員として若手研究者を育成するなど、本学の研究推進と大型プロジェクトの統括管理工系研究において、先端科学技術推進機構の果たす役割はさらに大きくなる。研究活動の場を提供している。各専任およびその関連機関並びに企業からの受託研究、共同研究、試験分析などは年々増加している。専任研究者として、エネルギーデバイスにおける豊富な実績と前副機構長としての経験を活かして、先端科学技術推進機構長として、先端科学技術推進機構の別発表会などを通じて積極的に社会に発信するとともに、高度な研究の推進に努

学位取得

学位(博士)記授与式が、3月21日に関西大学会館大集会室で行われ、次の35氏に関西大学から学位が授与された。被授与者の学位および博士論文名は次のとおり。

【課程博士26人】

- 柴田 就平/博士(文学) 「蒐集画帖の研究—大坂四条派の実態と画帖の受容をめぐる—」
- 村山弘太郎/博士(文学) 「近世都市の祭礼と社会—京都西陣・今宮祭を中心に—」
- 太田 宏明/博士(文学) 「横穴式石室の伝播からみた畿内政権地域支配構造の研究」
- 藤田奈美枝/博士(文学) 「古墳時代後期の地域性と階層性に関する研究」
- 一ノ瀬雄一/博士(文学) 「近代中国におけるビール産業の研究」
- 内野 花/博士(文学) 「東アジア産科学の史的研究」
- 村上 宏昭/博士(文学) 「ヴェーバーとゾンバルト—ある世代の肖像—」
- 嶋中 博章/博士(文学) 「絶対王政期フランス貴族の研究—コンデ親王と回想録作者たち—」
- 松原 光也/博士(文学) 「現代日本の地方中心都市における公共交通の再生とまちづくりに関する地理学研究」
- 岡田 良平/博士(文学) 「ラオ文化圏における農村社会の学校施設と進路選択の変容に関する教育地理学的研究—東北タイ・ビエンチャン平野農村の比較— A Study on Geography of Education in Lao Villages from the Point of Changing School Facilities and Villager's Life Courses: Comparative Rural Studies in Northeast Thailand and Vientiane Plain」
- 山本 晃輔/博士(文学) 「ブルースト現象の認知心理学的研究」
- 古松 文周/博士(経済学) 「フランクフルト学派と反ユダヤ主義」
- 岡 照二/博士(商学) 「B S CからS B S Cへの展開と可能性」
- 柴田 由己/博士(社会学) 「歩行者の経路選択行動についての心理学的研究」
- 中村 健二/博士(情報学) 「Webテキストマイニングによる情報の活用とナレッジ抽出に関する研究」
- 服部 洋/博士(情報学) 「橋梁ネットワークの維持管理へのヘルスマニタリング技術の導入に関する研究」
- 番匠 大輔/博士(工学) 「社会基盤を対象にした不確実性下における意思決定支援に関する研究」
- 泉 隼人/博士(工学) 「マイクロニードルの尖鋭化と蚊を模倣した穿刺デバイスの開発」
- 大坂 一生/博士(工学) 「エレクトロスプレーイオン化質量分析による環境化学物質の高感度定量分析法の開発」
- 本田 裕一/博士(工学) 「Design of Carbon Nanotube Structure for High-Power Electric Double Layer Capacitor Electrode」
- 長濱 英昭/博士(工学) 「Preparation and characterization of novel biodegradable biomaterials from natural polymers」
- 小川 道治/博士(工学) 「Ti-Cr-Fe-Al合金の組織と機械的性質に関する研究」
- 中村 貴彦/博士(工学) 「6000系アルミニウム合金の二段時効現象に関する研究」
- 笹谷 晴恵/博士(工学) 「ニコチンによる小胞体ストレス誘導型アポトーシス防御機構の解析」
- 水本 篤/博士(外国語教育学) 「Exploring the Art of Vocabulary Learning Strategies: A Closer Look at Japanese EFL University Students」
- 数越 知子/博士(外国語教育学) 「Exploring Language Learner Strategies Used by Japanese Lower Secondary School Students of EFL: A Synthesis of Quantitative and Qualitative Studies」
- 【論文博士9人】
- 玉田 佳子/博士(文学) 「女性作家の擬装という戦略—十八世紀イギリス女性作家研究」
- 上田 睦/博士(文学) 「河内の古瓦と氏族の研究」
- 村元 健一/博士(文学) 「秦漢魏晋南北朝時代の都城と陵墓の研究」
- 菅野瑞治也/博士(文学) 「ドイツのブルシェンシャフトの成立に関する一考察—特に18世紀後半の学生結社オルデンの活動を中心に—」
- 羅 小 東/博士(文学) 「『三言』『二拍』叙事艺术研究」
- 遠藤 智夫/博士(文学) 「『英和对訳袖珍辞書』と近代語の成立—W.H.Medhurst『英漢字典』との訳語比較を中心に—」
- 矢嶋 巖/博士(文学) 「生活用水・排水システムの空間展開」
- 渡辺 邦博/博士(経済学) 「ジェイムズ・ステュアートとスコットランド」
- 山田 明/博士(工学) 「壁効果を考慮した軸組木造住宅の動的解析に基づく耐震性能に関する研究」

春の叙勲

末尾至行名誉教授 瑞宝中綬章を受章



末尾至行名誉教授は、4月27日に千里山キャンパス第1学舎1号館で瑞宝中綬章を受章された。専門として重なる研究活動を開発し、その業績は人文地理学の多岐な分野に及ぶが、大別すれば、資源地理学に関する研究、西南アジアの地誌的研究、フランス地理学の3領域に分類され、それらの研究で優れた功績を残した。

名誉教授の称号授与

34氏に贈る

本年4月1日付で名誉教授の称号が次の34氏に授与された。

文学部	若田 恭二	文学部	橋本 征治
経済学部	浦西 和彦	経済学部	岩壺 卓三
社会学部	木村 章二	社会学部	大場 謙吉
総合情報学部	武智 英裕	総合情報学部	栗山 博
システム理工学部	藤野 脩二	システム理工学部	田村 坦之
法学部	若田 恭二	法学部	石原 勲
化学生命工学部	山崎 敬造	化学生命工学部	鈴木 俊光
環境都市工学部	高木 修	環境都市工学部	八尾 辰太郎
外国語教育研究機構	岩瀬 謙三	外国語教育研究機構	小林 武
大学院	松本 昭	大学院	北川 俊光
心理学研究科	松尾 圭正	心理学研究科	松尾 圭正

「豊臣期大坂図屏風」を復元して上海万博へ出展



4月27日に千里山キャンパス第1学舎1号館で橋下徹大阪府知事、平松邦夫大阪市長を迎え、大阪府と大阪市長が「豊臣期大坂図屏風」を最新の複製技術を用いて再現し、来年5月から開催される上海万博に出展することについて記者会見が行われた(写真)。

このたび、2010プロジェクト推進委員会において、高槻新キャンパスの名称が「高槻ミューズキャンパス」に決定した。名称の由来は高槻新キャンパスが所在する「良高槻寺のタウンコンセプト」と

高槻新キャンパスの名称決定 「高槻ミューズキャンパス」

「高槻ミューズキャンパス」に決定した。名称の由来は高槻新キャンパスが所在する「良高槻寺のタウンコンセプト」と

勇気ある行動

人命救助による感謝状授与



中農 晶三氏(なかのしろう)が、4月27日に京都府警察署から人命救助による感謝状を贈呈された。2人は、4月15日、京都市西京区にある道路わきの用水路で、男性が流されていくのを発見し、下流の小橋にて男性を道路に引き上げた。男性は当初意識がなかった。直ちに119番通報し、幸いにも男性にけがなどはなく、現在は元気な様子で、救助してくれた2人に深く感謝しているという。

が、4月27日に京都府警察署から人命救助による感謝状を贈呈された。2人は、4月15日、京都市西京区にある道路わきの用水路で、男性が流されていくのを発見し、下流の小橋にて男性を道路に引き上げた。男性は当初意識がなかった。直ちに119番通報し、幸いにも男性にけがなどはなく、現在は元気な様子で、救助してくれた2人に深く感謝しているという。

コミュニケーションマークとタグラインを発表

～変化に挑み続け「考動」する関大人～



コミュニケーションマーク

THINK×ACT

タグライン

これは、昨年7月に策定した「学校法人関西大学の長期ビジョン」(KU Vision2008-2017)の中で謳っている。本学がめざすべき方向性「社会を見つめ、変化に挑む」「考動する関大が世界を拓く」をコンセプトに策定されたものである。

Global KUは地球を、K、Uの文字で形作るコミュニケーションマークと、このマークを軸として、コミュニケーションマークを軸として、考動力を印とする。今後、さまざまな場面で展開し、新しい関西大学を社会に発信していく。

James R Melcher Prize Paper Award



河田博一学長(右)から表彰状を手渡される名切重男氏(左)

関西大学は、本学ブランドのさらなる価値向上をめざして、平成21年4月に、新たなコミュニケーションマーク「Global KU」(グローバルKU)とタグライン「THINK×ACT」(シンク・パイ・アクト)を発表した。

昨年10月に世界最大最高峰の電気系学会IEEEで最も権威のある賞のひとつであるJames R. Melcher Prize Paper Awardを共同研究でも受賞した名切重男氏大学院工学研究科博士課程後期課程修了は初めての学長表彰を受けられ、4月21日に表彰式が行われた。

本論文では、樹脂の加工方法の開発などを行い、植

初めての学長表彰に名切氏

物田東樹氏が石油由来樹脂の電気系学会IEEEで最も権威のある賞のひとつであるJames R. Melcher Prize Paper Awardを受賞した。その結果、植物由来樹脂の使用により削減や廃棄物減少などを達成することができ、電力業界などに強いインパクトを与えることになった。

山野博史法学部教授が「関西法律学校講義録」を寄贈



関西大学の前身である関西法律学校が、創立1年後の明治20年から翌21年にかけて発行した「関西法律学校講義録」(写本の第1冊が平成21年3月18日、山野博史法学部教授から大学に寄贈された。

「関西法律学校講義録」は、学生の中から選ばれた者が授業中に書き取った原稿を、各担当講師が校閲したうえで順次出版したもの。年史の記述を書き加えて、広く一般にも販売され、学校で直接授業を受ける大きな宝庫である。山野教授は、今回の「関西法律学校講義録」以外にも、本学で最初に発行された公式刊物である「関西法律学校機関」(明治19年10月発行)の創立120周年の佳節の年である平成15年11月に大学へ寄贈している。(年史編集室)

小中高一貫教育シンポジウムを開催



子どもの夢と希望をはぐくむ 一貫教育について

平成22年4月開設に向け高槻ミューズキャンパスでは、初等教育から高等教育までの一貫教育を同一キャンパスで実践するという本学の新しい教育展開をする場として、日々準備に取り組んでいる。第1部の基調講演では、作家の重松清氏が「子どもの未来に影響を与えることばの力」について重要性を語り、引き続き行われた第2部のパネルディスカッションでは、基調講演にも参加いただいた重松氏のほか田尻祐輔外国語学部教授、黒上晴夫総合情報学部教授、米津俊司初等部、中等部、高等部副部長が壇上から、企業関係者のほか、一般市民や教職員、学生ら約800名が参加した。

高槻の風



「LINK」をテーマにした高槻キャンパス祭を開催。このキャンパス祭は本学とのつながりを大事にするという意図がある。さら

高槻キャンパス祭を開催



高槻キャンパスでは5月31日(日)に「高槻キャンパス祭」を開催する。このキャンパス祭は本学とのつながりを大事にするという意図がある。さら

大学トピックス

●独立行政法人日本学術振興会委員会学術推進事業委員として就任
河田博一学長が、文部科学省の委託を受け、右記事業の審査を行う独立行政法人日本学術振興会の大学教育等推進事業委員会委員に就任した。

●関西大学環境報告書2008を発行
本学の地球環境問題への取り組みについて取りまとめた「関西大学環境報告書2008」を発行した。

●学事短信
法務部学術講演会「講義の現状」
講師 下川 隆士氏(児童自立支援施設大阪市阿野)

3大学共同学部の開設を延期 新たに協定書を締結

本学をはじめ、大阪医科大学と大阪薬科大学の3大学は、これまで医・工・薬学および看護学を包含する共同学部の平成22年4月開設をめざして、検討してきた。しかし、大阪設置基準等の改正内容とわれわれの構想との間に懸隔が生じ、大幅な見直しが必要となった。開設時期を1年延期することになり、新たに「3大学教育研究連携事業に関する協定書」を本年3月26日に締結した。その主な内容は、以下のとおりである。

併校ニュース

●入学式を挙行
満開の桜のもと、4月6日(関西大学北陽高等学校)の入学式が同校体育館にて挙行され、総勢311人、男子225人、女子106人の新入生を迎えた。

●高等学校・中学校にチャレンジ!
関西大学第一高等学校・第一中学校の中学1年生から高校2年生まで、9月4日から2月14日(高校)および同月9日(中学)に財団法人日本数学検定協会の数検にチャレンジし、見事642人が合格した。

3大学共同学部の開設を延期

●独立行政法人日本学術振興会委員会学術推進事業委員として就任
河田博一学長が、文部科学省の委託を受け、右記事業の審査を行う独立行政法人日本学術振興会の大学教育等推進事業委員会委員に就任した。

収支予算の概要

① 資金収支予算について

平成21年度資金収支予算は、「資金収支予算書」のとおりですが、これを総括したものが「表1」です。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、603億8400万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設整備費のほか、借入金返済などの支出も含まれます。



北陽中学校校舎 完成予想図

平成21年度に開設する外国語部の新入生の初年度学費は新たな設定額により、既存学部(法学部・経済・商・社会・政策創造・総合情報システム理工・環境都市・化学生命工学部)の初年度学費は、社会・経済情勢を勘案し、平成12年度から据え置かれており、平成21年度も据え置きました。

手数料収入は、入学検定料が主です。大学院(法科大学院、会計専門職大学院、臨床心理専門職大学院)および平成22年度開設予定の社会安全学研究科を含む。2060人、学部平均1人、北陽高等学校540人、北陽高等学校540人、幼稚園80人、平成22年度開設予定の北陽中学校300人、並びに高槻ユースキャンパスの高等部216人、中等部248人、および体育・厚生棟建築工費、ユースキャンパス校舎棟改修工事、北陽中学校校舎棟改修工事などです。

② 消費収支予算について

平成21年度消費収支予算は、「消費収支予算書」のとおりですが、これを総括すると「表2」のとおりとなります。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などとなり、対前年度比較で1億6100万円の増となり、49億1800万円となりました。平成21年度予算における消費収支の均衡状況をあらわす消費支出超過額9300万円の減となり、対前年度比較で100万円の減となりました。この結果、次年度より繰越消費額は、前年度からの繰越消費支出超過額2610万円の減となり、消費支出超過額955800万円を減らすことができました。

必要な消耗品や業務委託費などが主です。また、管理経費支出は、学生募集に係る経費および法人の運営に必要な諸経費です。また、北陽高等学校540人、幼稚園80人、平成22年度開設予定の北陽中学校300人、並びに高槻ユースキャンパスの高等部216人、中等部248人、および体育・厚生棟建築工費、ユースキャンパス校舎棟改修工事、北陽中学校校舎棟改修工事などです。

資金収支予算総括表 (単位 百万円)

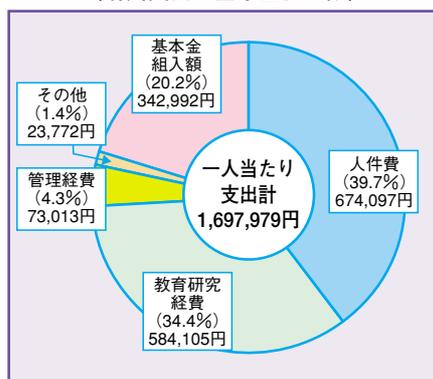
科目	平成21年度予算	平成20年度予算	増減
前年度繰越支払資金	11,322	19,977	△8,655
資金収入	60,384	57,311	3,073
資金支出	59,935	65,966	△6,031
収支超過不足	449	△8,655	9,104
次年度繰越支払資金	11,771	11,322	449

(注)平成20年度予算は、第3次補正後予算です(以下同じ)。

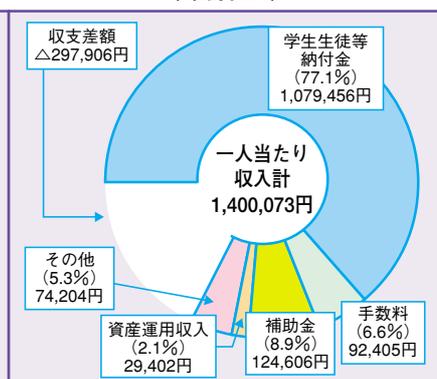
消費収支予算総括表 (単位 百万円)

科目	平成21年度予算	平成20年度予算	増減
A 帰属収入	44,918	46,911	△1,993
B 基本金組入額	△10,978	△19,383	8,405
C 消費収入(A+B)	33,940	27,528	6,412
D 消費支出	43,498	42,337	1,161
当年度消費収支差額(C-D)	△9,558	△14,809	5,251
前年度繰越消費収支差額	△26,175	△11,366	△14,809
翌年度繰越消費収支差額	△35,733	△26,175	△9,558

(消費支出+基本金組入額)



(帰属収入)



(注) 1 (消費支出+基本金組入額) および帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数32,083人(大学院・学部・高校・中学・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。2 [基本金組入額]とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

学校法人関西大学 平成21年度予算について

2010プロジェクトの完遂に向けて

5 おわりに

次に、消費収支固有の主な科目について、若干説明します。帰属収入の寄付金には、現物寄付金が含まれます。基本金組入額は、学校法人が教育研究活動を行うための取得に際し、借り入れた借入金未返済額にある基本金未組入額が54億8300万円あり、この2つを校法人会計では、これら学

10プロジェクトを完遂し、「21世紀型キャンパス」へと成熟・飛躍していくことに邁進しています。平成21年度以降の財政見通しは、大規模な事業計画による支出の増加が見込まれる一方、収入財源は、18歳人口の大幅な減少や昨今の経済情勢などの影響を受けており、学生生徒等納付金を中心とする帰属収入の確保が

なお、「関西大学ウェブサイト」にも財務情報を掲載していますので、一度ご覧ください。
<http://www.kansai-u.ac.jp/zainu/>

5月2日(火) 2時限	講演テーマ: 吉田松隆と部落問題 講師: 布引 敏雄氏 (大阪観光大学 元教授) 時間: 10時40分~12時10分 場所: 千里山キャンパス 第1学舎 千里ホールB
5月19日(火) 5時限	講演テーマ: 人権の普遍性と文化の多様性 講師: 樋口 陽一氏 (日本学士院会員・東京大学名誉教授・東北大学名誉教授) 時間: 16時20分~17時50分 場所: 千里山キャンパス 第1学舎 B202教室
5月3日(水) 3時限	講演テーマ: 最新映像で見るイラク戦争 講師: 西谷 文和氏 (イラクの子どもを救う会代表 フリージャーナリスト) 時間: 13時00分~14時30分 場所: 千里山キャンパス 第1学舎 A602教室
5月20日(水) 5時限	講演テーマ: アジアの二つの大国 中国(巨龍)とインド(巨象)とどう取り組むか 講師: 谷野作太郎氏 (財団法人日中友好会館 副会長) 時間: 16時20分~17時50分 場所: 千里山キャンパス 第1学舎 E501教室
5月30日(土) 3時限	講演テーマ: いま雇用は何が起きているのか—08恐慌と非正規労働者— 講師: 森岡 孝二氏 (関西大学経済学部 教授) 時間: 13時00分~14時30分 場所: 千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

春季人権啓発行事

多彩なゲストスピーカーを招いて実施

本年度の春季人権啓発行事は、ゲストスピーカーを招き、表のとおりに実施される。部落問題や人権についてのテーマに加えて、今回は、イラク戦争、中国・インドというアジアの2大新興国への対応、経済恐慌と雇用危機といった今日の社会が直面するホットな課題をめぐって興味深いテーマが設定されている。詳しくは案内パンフレット「人権を考える」を参照されたい。(副学長 芝井 敬司)



「学の実化」の時代
山岡順太郎・倭父子展

1階では、本年度企画展「学の実化」の時代(1922~2010)を開催している。

「学の実化」の時代—山岡順太郎・倭父子展

5月5日、本学は太宰令(旧制)に基づく大学に昇格した。同年4月には、千里山学舎・大学予科校舎が竣工し、福島学舎から大学工学部、法学部が移転して、大学予科が廃止されている。昇格運動の先頭に立って尽力したのが、山岡順太郎総理事(のち学長を兼務)である。

山岡(1866~1939)は、徳川幕府崩壊の前年、金沢城下に生まれ、明治16年に上京し、青年時代は茨城県や通信省の役人として、辣腕を揮っていた。

壮年時代から晩年にかけては、大阪鉄工所(現・日立造船)、日本電力の取締役社長、大阪商業会議所会頭などの要職につき、実業家として活躍した。

山岡が提唱した「学の実化」とは、「学問の実際化」あるいは「学問の實際化」ということである。その表現のため、「学の実化」講座には内外の名士を講師として招き、多数の女性も参加した夏期語学講習会などを開催している。関西大学が濠洲として輝ける(年史編集室)



可能性を広げる講座の活用を

現在、開講中の司法講座「基礎コース」、「司法書士対策講座」は途中からの受講も可能です。また、天六キャンパスと高槻キャンパスでも受付を同日から開始しますが、キャンパスにより受付開始時間が異なりますのでご注意ください。

5月22日(金)から開講するマスコミ試験対策講座は、新聞・ジャーナリストクラス「マスコミ一般クラス」(出版・広告・放送)の2つの業界別クラスで編成されています。5月26日(火)から開講する「管理士講座」も申込受付中です。7月から開講する「TOEFL®テスト対策コース」、9月から開講する「TOEIC®テスト対策コース」、10月から開講する「社会保険労務士講座」、11月から開講する「公認会計士入門講座」、税理士講座については、リードセンター千里山キャンパス事務室において、6月17日(水)12時10分から申込受付を開始します。

時代のひとつであったといえよう。

山岡の長男(倭は、父とともに「東洋第一の運動場」の建設や野球部をはじめとする運動各部の活動を支援し、関西大学北陽高等学校の創立に寄与している。

今回は、初公開の写真や絵巻など、日記などを展示している。山岡父子の人となりや「学の実化」について知る絶好の機会として、関西大学の学舎に展示している。

開催期間は、2010年3月末日曜日。午前10時から午後4時開館。土曜日曜、祝日および大学が定めた休日は閉館。但し、教育後援会総会など行事開催日は開館。(年史編集室)

公開講座

※関西大学公開講座(高槻市)については4月から、関西大学吹田市民講座については5月から申込受付を開始していますので、すでに受講の定員に達している場合があります。その他の講座も受講の定員に達し次第締め切りますのでご注意ください。

第38回 生涯学習吹田市民大学 関西大学講座(前期講座) 全4コース 16回			
▼1コース「日本史と世界史の間—文化遺産が結ぶもの—」			
日程	テーマ	講師	
6/18(木)	「法隆寺への道—美の承襲—」	文学部教授	高橋 隆博
6/25(木)	「大唐帝国の文化遺産—古代日本文化の淵源—」	文学部准教授	森部 豊
7/2(木)	「古代エジプト思想と世界史」	文学部教授	吹田 浩
7/9(木)	「黒潮が伝えた文化遺産の諸相」	文学部教授	森 隆男
(いずれも10時40分~12時10分)			
▼2コース「日本文学と音楽」			
日程	テーマ	講師	
6/18(木)	「王朝物語と音楽」	文学部教授	山本 登朗
6/25(木)	「能楽と音楽」	文学部教授	関屋 俊彦
7/2(木)	「芭蕉・蕪村と音楽」	文学部教授	藤田 真一
7/9(木)	「阪神間の近代文学と音楽」	文学部教授	増田 周子
(いずれも13時~14時30分)			
▼3コース「変わる社会、変わる子ども」			
日程	テーマ	講師	
6/19(金)	「近代化の進展と子どもの変容」	文学部教授	多賀 太
6/26(金)	「子ども」から「大人」への移行」	文学部准教授	山ノ内裕子
7/3(金)	「セキュリティの過剰化と現代の子ども像」	文学部准教授	広瀬 義徳
7/10(金)	「子どもの科学離れ」は本当か?」	文学部准教授	藤江 康彦
(いずれも10時40分~12時10分)			
▼4コース「社会をデザインする:中期展望」			
日程	テーマ	講師	
6/19(金)	「分配、雇用、技術変化」	社会学部教授	舟場 拓司
6/26(金)	「友人、組織、コミュニティ」	社会学部教授	安田 雪
7/3(金)	「ポスト京都と低炭素社会の構築」	名誉教授	橋本 敬造
7/10(金)	「めざめよ商店街」	社会学部教授	大西 正曹
(いずれも13時~14時30分)			
問い合わせはいずれも地域連携センターまで。電話06-6368-1032(9時~17時)			

第35回 飛鳥史学文学講座			
本学と地域連携協定を結んでいる明日香村と関西大学飛鳥文化研究所の共催により、次のテーマで開催します。会場は明日香村中央公民館。受講料は年額5,000円・当日のみ受講は1,000円(テキスト代含む)。問い合わせは教育後援会(06-6368-0055)まで			
日程	テーマ	講師	
6/14(日)	高松塚・キトラ古墳の世界	文学部教授	米田 文孝
7/12(日)	古代大和と河内	文学部教授	高橋 誠一
8/2(日)	新出の冷泉家本私家集	文学部教授	田中 眞登
9/13(日)	「萬葉集の名歌1」	文学部教授	大濱 眞幸
10/11(日)	神仏への供え物	文学部教授	黒田 一充
11/15(日)	女帝の不思議	文学部教授	藪田 貫
12/13(日)	経と史の話	名誉教授	奥村 郁三
1/17(日)	堀江彦三郎さんのこと	法学部教授	山野 博史
2/14(日)	古代の鉱山をさぐる	名誉教授	赤松 勝也
3/14(日)	古代東アジアの異邦人	文学部教授	藤田 高夫
※いずれも時間は13時15分~15時15分			

第186・187回 経済・政治研究所公開講座			
経済・政治研究所では、次のとおり公開講座を開催します。聴講自由。			
日程	テーマ	講師	
5/20(水)	人間関係における「絆」の役割について—夫婦間の絆に着目して—	現代産業社会と人間関係研究班委嘱研究員・大阪国際大学講師 戸口 愛泰	
6/17(水)	ハイアールの経営管理システムについて—中国の巨大家電メーカーの実態を探る—	東アジア研究班主幹・商学部教授 水野 一郎	
(いずれも15時~16時30分)会場は、千里山キャンパス尚文館1階マルチメディアAV大教室。問い合わせは、研究所事務室まで。(電話06-6368-1179) 詳しくはウェブサイト(http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/)を参照のこと。			

第11回 関西大学公開講座(高槻市)前期講座 全4回			
▼「なにわ・大阪と世界—過去から未来の交流を考える—」			
日程	テーマ	講師	
5/30(土)	「大阪の祭り—北摂を中心として—」	文学部教授	黒田 一充
6/6(土)	「難波宮と難波津」	文学部教授	西本 昌弘
6/13(土)	「堺・大坂と東南アジア日本人町」	文学部教授	野間 晴雄
6/20(土)	「日本とEU—ヨーロッパ中世研究者の眼から見た今後の姿—」	文学部教授	朝治 啓三
(いずれも14時~15時30分)			
問い合わせは地域連携センターまで。電話06-6368-1032(9時~17時)			

第57回 人権問題研究室公開講座			
人権問題研究室では、研究成果を学内および社会に広く還元し、学内外における人権意識の向上に寄与するため、学生・教職員・一般市民を対象に公開講座を開催します。			
日程	テーマ	講師	
5/22(金) 13時~14時30分	「かくして水平社は生まれた—西光万吉の宗教的実存と表現主義—」	委嘱研究員 宮橋 國臣	
会場は、千里山キャンパス尚文館1階マルチメディアAV大教室。問い合わせは人権問題研究室まで。(電話06-6368-1182)			

日程が決定 第32回 総合関関戦

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスなどで、6月18日(木)から3日間

伝統の関関戦をみんなで応援に行こう!

熱闘開始

通算成績16勝14敗
関大が一步リード

昭和53年以来、関西大学と関西学院大学の両大学が、全クラブ統一同じ日程、同じ場所、同じ戦いを繰り返してきた「総合関関戦」。

試合日程

前哨戦(5月15日以降のみ)
5月24日(日)：馬術、陸上競技
5月30日(土)・31日(日)：弓道
6月6日(土)：自動車
6月6日(土)・7日(日)：ヨット
6月14日(土)：重拳
6月14日(日)：重拳
第1日 6月18日(木)

開会式
アイスホッケー、硬式野球、ゴルフ、サッカークラウンズ、バスケットボール、バドミントン、テニス、バレーボール、ハンドボール、陸上ホッケー
第2日 6月19日(金)
アメリカンフットボール、ソフトテニス、バレーボール、ハンドボール、陸上ホッケー
第3日 6月20日(土)
合気道、器械体操、剣道、拳法、射撃、相撲、卓球、庭球、軟式野球、フリスビー、ボート、洋弓、ラグビー、レスリング
閉会式



関西大学文化・学術活動等奨励金制度 企画部門を募集します

この制度は、課外活動や自主活動において優れた企画を持つ学生に対し、奨励金をもって支援するものである。企画部門は、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた企画を有する個人または団体。

武市君優勝で日本代表に 中井さんも自己新で第3位

4月18・19日に第6回全日本学生選抜大会
武市 樹さん(商4)
中井美保さん(文2)



武市 樹さん(商4)



中井美保さん(文2)

裁判员に選ばれたら

5月21日から裁判员制度が実施されることに伴い、本学においても相当数の学生諸君が裁判员(「裁判员候補者」を含む。以下同じ)に選任されることが予想される。

①裁判员に選任された場合(本人の意思により辞退しない場合)の手続きについて

- 【学生諸君が手続きする内容】
裁判员に選任されたことおよび裁判员として裁判所に出席する必要がある期日について、事前に教務センター-授業支援グループ各学舎ステーションで所定様式により届け出ること。
なお、その際に呼出状などの通知文書(写)を証明書類として持参すること。
【措置内容について】
①授業の欠席に関して不利益を受けないように措置する(欠席扱いとしないこと、必要に応じて事前または事後に授業担当者から資料配付、授業内容説明を行うこと)。
②定期試験期間中の場合は、追試験の対象とする。
※裁判员に選任された個人名を大学から情報公開することはない。

②その他

裁判员制度においては、一定の理由(例：学生であることなど)により裁判员になることを辞退できる。この参加・不参加については、学生諸君が自主的に判断すべきものであり、大学側から参加・不参加を指示したりすることはない。
なお、裁判员を辞退する場合、大学に手続きを行う必要はない。

※裁判员制度については以下のURLを参照のこと。
<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

夏期 語学セミナー 参加者を募集!

本学では、夏休業期間中の約4週間、以下の8大学で語学セミナーを実施する。このセミナーは、生きた語学を身につけるだけでなく、外国の文化、歴史、生活習慣や考え方を理解することができる。セミナーについては、一時的に教職員も同行し、現地の生活をサポートする。

- ポルトランド州立大学 ホームステイ形式
カルガリー大学 ホームステイ形式
トロント大学 ホームステイ形式
オークランド大学 ホームステイ形式
オーストラリア大学 ホームステイ形式
ゲティンゲン大学 ゲットینگン本学
ポズナレフ大学 ホームステイ形式
ボスニア大学 ホームステイ形式
高麗大学 ホームステイ形式
大分大学 ホームステイ形式
大分大学 ホームステイ形式

「スポーツに強い関西大学をめざして スポーツゼミットを開催」

5月7日、リーグロイヤルホテルで「関西大学スポーツゼミット」が開催された。この催しは本学のスポーツ強化を推進する目的の共催で平成15年度から開催しているものである。当日は、早稲田大学前校長で財団法人日本高等学校野球連盟会長である奥島孝康氏をお招きし、「高校野球

教育懇談会 今年度の日程

平成21年度教育懇談会を次の日程のとおり開催する。	
【本学】	5月17日(日) 千里山キャンパス
【地方】	7月26日(日) 高松市・福岡市
	8月2日(日) 岡山市・鹿児島市
	8月4日(火) 鳥取市・熊本市
	8月9日(日) 広島市・金沢市
	8月23日(日) 名古屋市・松山市
	8月25日(火) 東京都・徳島市
	8月28日(金) 佐賀市・富山市
	8月30日(日) 山口市・福井市
	9月6日(日) 札幌市
	9月13日(日) 山形市
	9月27日(日) 新潟市
	11月29日(日) 那覇市

新刊の扉

- 文学部教授 野間晴雄著 『低地の歴史生態システム 日本の比較福作社会論』
- 文学部教授 橋本征治編著 『海の内閣と文化の出会い アジア・世界をつなぐ』
- 文学部准教授 岡田忠克著 『転換期における福祉国家』

関大通信 第362号

平成21年(2009年)5月15日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は6月18日発行の予定です

特集 学生企画

関大生の アルバイト事情

新学期がはじまり、授業や研究などを始め、新しいことにチャレンジし始めたい人も多いのではないだろうか?

大学の授業や研究以外にも、多くの学生が一度は経験するアルバイト。そんなアルバイト事情について、4月8日から12日までインフォメーションシステムを利用したアンケートを実施したところ、非常に多くの回答(310件)が寄せられた。

アルバイトを通じて得たものは何か? 関大生のアルバイト事情を特集した。



「巫女として参拝客のお手伝い」

實川 智美さん 政策創造学部2年次生

去年の大晦日から今年のお正月の期間、兵庫県の大晦日から今年のお正月の期間、兵庫県の三宮にある生田神社で助勤巫女として働いていました。生田神社は、縁結びと健康長寿の神様を祭っていて、阪急電車や阪神電車などの三宮駅近くにあります。



助勤巫女のお仕事は、まず更衣室で巫女の衣装(白い上衣・袴)に着替え、おみくじやお守り・お札などの授与、補充などを行います。驚いたことは、参拝者には「ありがとうございます」ではなく、「ようお参りでした」と言うことです。また、お守りやお札を授与する時には「お納めください」と言います。お守りやお札は、参拝者に売るのでなく、「授与する」ためです。

中学生から憧れていた巫女になることができ、今年は新年を神社という神聖な場所で迎えることができたことに大きな喜びを感じました。大晦日から元旦を迎えたときは、多くの参拝客で慣れない状況のなか大変でしたが、新しい年を迎え、1年の良縁や健康を願う参拝客のお手伝いをしてきたことは、とてもうれしく思います。

「近畿No.1のサービスができる店」

佐邊 直樹さん 政策創造学部3年次生

私はこの春休みに、自分の働く店の代表するサービスであるコーヒー・カフェオレのおかわり率の向上に力を注ぎました。おかわり率というのは、おかわり1杯を100%として計算するものですが、これが私の店では月に平均30~50%台となっており、近畿エリア内でも下から2番目という状況でした。私はこれを何とかしたいと思い、おかわりをアピールするポスターをみんなで作り、15分に1回は店内

を回って積極的におかわりを提供するということを義務付けました。

そして、1カ月間アルバイト全員で努力した結果、今年の2月に月平均75.6%という数字で、近畿エリア内No.1の成績を残すことができました。私はこのことから、1つの努力でこんなにも嬉しい結果を得られるということを知りました。

現在は、近畿No.1だけでなく全国一おかわりサービスのできる店づくりに向けてさまざまな努力をしています。



「店長を追いこして1番の営業成績に」

清永 真弓さん 政策創造学部3年次生

私は、バッグの販売のアルバイトをしています。売上を伸ばすために、店舗では月ごとにノルマがあります。しかし私は、自分の力を試してみたかったので自分で自分のノルマを設定しました。ノルマを達成したくて接客にも力が入り、私はひたすらお客様に声をかけ商品を勧めていきました。しかし、商品を良いとは言えないものの購入してはくれず、なかなかノルマに近づけませんでした。そこで、まずディスプレイを変えて、お客様が要望を言いやすいような雰囲気作りを大切にしました。お客様が望んでいたものを提案できたときの、お客様のうれしそうなお客を見るのと本当に心が暖かくな

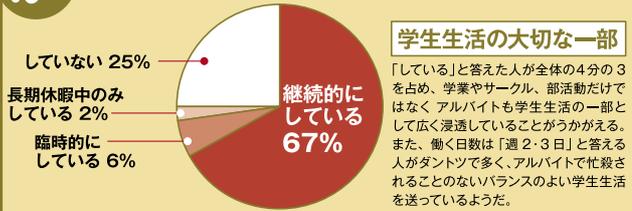
り、そのお客様の笑顔を見たくて、最後まであきらめずノルマをめざすことができました。

そのように感じるようになった頃から、1つの商品を通してお客様との距離も縮んでいったと同時に、着々とノルマに近づいていきました。月末をむかえた頃、私の実績は今までで最高の成績となりました。店内で店長を追いこして1番の成績となりました。厳しいノルマを達成できたことで、仕事への自信が出てきました。一生懸命頑張っても、結果が出ないときもありましたが、最後まであきらめず誠行錯誤しながら努力し続けたことで、目標を達成できました。そこで、私は、「あきらめずにコツコツと努力していけば、必ず目標は達成できる」ということを学びました。

今までは、ただのお金稼ぎでやっていたアルバイトですが、最近はお客様と交流したくてアルバイトをしている自分に変わりました。このアルバイトを経験したからその成長だと感じています。



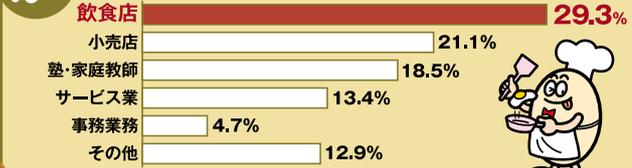
Q1 大学入学後にアルバイトをしていますか?



学生生活の大切な一部

「している」と答えた人が全体の4分の3を占め、授業やサークル、部活動だけではなくアルバイトも学生生活の一部として広く浸透していることがうかがえる。また、働く日数は「週2・3日」と答える人がダントツで多く、アルバイトで仕込まれることのないバランスのよい学生生活を送っているようだ。

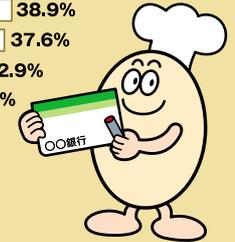
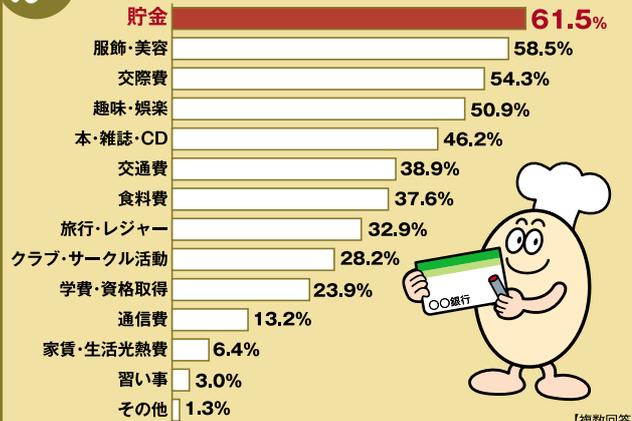
Q2 主にどのような内容のアルバイトをしていますか?



人と接する仕事

一番多いのは飲食店でのアルバイト、次いでコンビニや百貨店などの小売業、塾・家庭教師として働いている人が半数以上を占めることから、「人と接する仕事」をキーワードに仕事を選ぶ人が多いようだ。その他「駅の清掃」や「雑誌記者」といったアルバイトをしている人もいた。

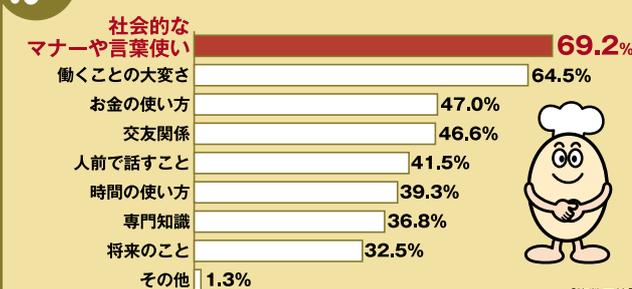
Q3 アルバイトをして得た収入は主に何に使いますか?



意外と関大生は堅実!?

「趣味・娯楽」「服飾・美容」「交際費」といった学生生活を楽しむといった費用にお金を使うと答えた人がそれぞれ50%以上を占める一方で、貯金をすると答えた学生の割合は61.5%とかなりの割合を占める結果となった。貯金をすることで、将来に向けての投資をしているのかもしれない。その他の回答では、「就職活動時の昼食代、履歴書やノートなどの諸費」「留学資金」と、先のことを考えて行動している一面を知ることができた。

Q4 アルバイトを通じて得たことは何ですか?



かいま見る社会の厳しさ!!

得たことの第1位に選ばれたのは69.2%の「社会的なマナーや言葉使いが身についた」、第2位が64.5%の「働くことの大変さが分かった」という結果になった。また、その他の回答では、「人間関係のしんどさや、先輩後輩関係の厳しさがわかった」「お金をもらうに相応しい価値のある働きをしなければならない」と、アルバイトを通して、社会の厳しさを目の当たりにしたことがうかがえる。関大生はアルバイトを通して、社会を知り、働くことの大切さを学んでいるのかもしれない。

一緒に『関大通信』を盛り上げよう! 現在、広報課では学生広報スタッフを募集しています。詳細はインフォメーションシステムでお知らせしています。

企画・編集: 学生広報スタッフ 上窪 大貴(政策3) / 實川 智美(政策2) / 服部 夏奈(情4) / 平岡 菜穂(情4)

下家 浩 (1)

大学間におけるさまざまな競争が激化し、各大学における体制の再構築や魅力ある大学へ変化する戦略が求められている。その取り組み例として、本号では、コミュニケーション・マーケティングの決定、シンポジウムや各種公開講座のお知らせなど掲載した。しかし、残念ながら3大共同学部開設が延期されること、決定し、その記事についても掲載しなかった。苦難を打破しようと本号が、変遷を続けていることは確かだ。

一方、現在の学生に目を向け、現在のアルバイトに関する記事も掲載した。本学という大きな母体が「言わば」大学の「生き残り戦略」を必死に模索しているなか、学生もアルバイトによる「生き残り戦略」を模索しながら成長している様子が微笑ましく見える。

編集後記
大学間におけるさまざまな競争が激化し、各大学における体制の再構築や魅力ある大学へ変化する戦略が求められている。その取り組み例として、本号では、コミュニケーション・マーケティングの決定、シンポジウムや各種公開講座のお知らせなど掲載した。しかし、残念ながら3大共同学部開設が延期されること、決定し、その記事についても掲載しなかった。苦難を打破しようと本号が、変遷を続けていることは確かだ。

安田 信之(やすだのぶゆき)教授
専攻はアジア法、開発法学。アジア法、開発法学の基礎理論の構築に関心をもち、主要な著書は「開発法学 アジア・ポスト開発国家の法システム」(第三世界開発法学入門)(編)など多数。



今月の表紙